

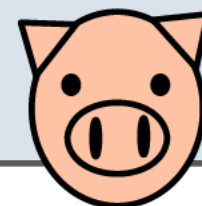
三重県庁の公衆衛生分野で働く獣医師からのメッセージ

平成26年4月に募集したメッセージです

私はより多くの人の生活に貢献できる仕事がしたくて公衆衛生分野を希望し、今は保健所で働いています。公務員獣医師は安定だけが魅力、特に公衆衛生分野の仕事は獣医っぽくなくてつまらないという雰囲気漂っているかもしれませんが。（私のクラスではそうでした...）しかし、そんなことは全くありません！獣医っぽくないことも全て獣医だから資格が与えられてできることであり、いろいろなことができるのでとっても楽しく、やりがいもものすごくあります。

三重は日本の真ん中で、ほどよい田舎で、人は温厚で、とても住みやすいところなので出身県じゃないひともしぜひ三重に来てください！

北海道大学出身



三重県の保健所では、食品衛生、環境衛生、薬事、動物等様々な業務を1つの課で受け持っているのです、幅広い知識を得ることができます。日々、様々な職種のお客様と接することができて面白いですよ。

自然がいっぱいで生活するにも良い土地です。ぜひ、三重県にいらしてください。

北海道大学出身



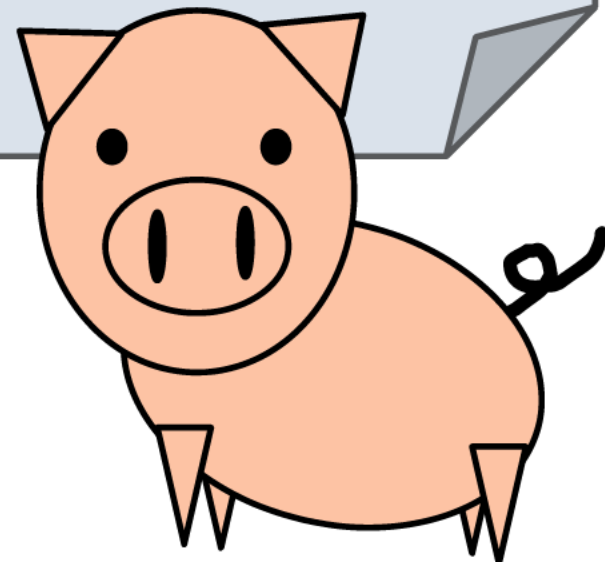
後輩の皆さんこんにちは。

私は他の都道府県や政令市で働いた後、4か所目の職場として地元である三重県に入りました。それぞれ土地柄の違いや配属先の違いがあるので簡単に比べられませんが、私が三重県のここがいいなあと感じるところを紹介させていただきます。

まずは、新人さんは「よく来てくれたね～」とすごく大切にみんなで育ててもらえます。県外の方は特にそうですよ。それから、育メンの知事が次世代育成にも力を入れているので、子育てに関する休暇制度が充実しています。職場の方も子育て中の職員をあたたく見守ってくれる雰囲気があり、人数の少ない技術職の女性職員でもとても働きやすい職場環境だと思います。

三重県は自然も多く、おいしい食べ物もたくさんあって、いいところですよ。三重県出身の方も県外の方もぜひ来てください。一緒にがんばりましょう。

北海道大学出身



公衆衛生獣医師の仕事はあまり知られておらず、仕事内容也多岐に渡ります。三重県の保健所の獣医師は地方ということもあり（？）様々な種類の仕事をしています。

食品工場などにも立入します。また、志摩市駐在では牡蠣の業務が多く飲食店や大きなホテル、お菓子の製造施設などの監視はもちろんですが、また船に乗って牡蠣の養殖を見に行ったり、ノロウイルスの研究を行っています。

普段自分たちが生活で食べるもの、利用するところの裏側を見ることができ、とても勉強になります。

様々な分野の方と会うことができ、毎日色々な仕事をするので飽きずに頑張れると思います。

大学で学んでおいて損をする分野はありません。食肉検査所や家畜保健所では畜産系や臨床系の知識が役に立ち、動物愛護関係では臨床やしつけの知識が役に立ちます。

地域のために大学で学んだ知識をフルに使ってみたい方に三重県に来ていただきたいです。

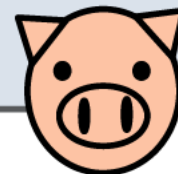
酪農学園大学出身



公衆衛生の重要性を感じて、県職員の道を選びました。

公衆衛生の分野は、まだまだ獣医師が不足しています。三重県は女性にとって働きやすい職場だと思います。私も子供二人を育てながら仕事をしてきました。もちろん、家族の支えや職場の皆さんの理解があったからこそできたことです。職員同士支えあう、仲間意識の強さは出身大学の雰囲気似ています。私たちと一緒に働きましょう！

酪農学園大学出身



こんにちは。私は三重県健康福祉部（健福）に所属していて、保健所や食肉衛生検査所の勤務経験があります。健福にはその他にも保健環境研究所という職場があり、獣医師も研究業務をしています。また、三重県の農林水産部（農水）というところには、家畜保健衛生所や畜産研究所があり、獣医師が専門知識を生かして仕事をしています。さらに、三重県では健福と農水の間で人事交流があり、獣医師が行ったり来たりしています。このように、専門性の高い多様な業務を経験できることは、三重県職員（公務員）獣医師の魅力のひとつです。

三重県では子育て支援も重視していて、育児休業制度が充実しています。多くの県職員は持ち家があり、また三重県は自然にも恵まれているので、子育ての環境も良いです。

専門性の高い職業に従事したい方、仕事と家庭を両立したい方は、ぜひ三重県職員募集情報をチェックしてください。

岐阜大学出身



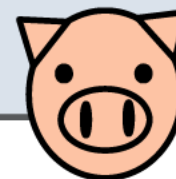
岐阜県出身ですが、縁あって三重県に就職しました。

県庁へ入ってからは、保健所、食肉衛生検査所、本庁と勤務場所によって仕事の内容が変わり、いろいろ経験できてます。

卒業して最初は、動物病院に3年間勤務し、その後転職してますので、質問とかあれば聞いてください。

三重県は、伊勢エビや松阪牛と美味しい食べ物が多いですが、海のない県に育った私としては、特に魚が美味しいのに感動しています。

岐阜大学出身



学生の皆さんへ

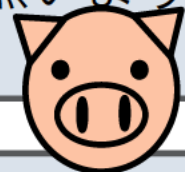
私は卒業後すぐに郷里の三重県に戻り就職しました。あれから既に36年過ぎてしまったことになります。研究室では牛の世話と直腸検査を良くしていたことを記憶しています。

昨年、一昨年と三重県を離れて四日市市に派遣をされていて立場上、獣医師の採用試験の面接をしていました。2年間で14人の公務員獣医師希望の学生や既卒者と会いました。今まで獣医師以外の人も含めて多くの人と一緒に仕事をさせていただきましたが、何といたっても人がいて初めて仕事ができるわけですので、コミュニケーションをはじめとした社会性を身につける事が何より大切ではないかと思えます。

獣医師の資格を持っているということは一定以上の知的レベルがあるし、専門的な知識は勿論持っているということで、社会に出て差が出るのはそこら辺ではないかと思えます。

全く三重県のPRにはなっていませんが、残りの学生生活を悔いの無いように過ごしてください。

北里大学出身



卒業後、三重県職員としては家畜保健衛生所勤務を経て、現在は保健環境研究所で人獣共通感染症をはじめとしたウイルス・細菌の調査研究を実施しています。病理出身でしたので、細菌学やウイルス学は卒後に勉強しましたが、まあ何とかなるものです。

また、どの研究室でも実施される試薬の調製や濃度計算等は結構使いますので、今やっていることもおろそかにせず頑張ってください。

北里大学出身



私は入庁以来19年間三重県の家畜保健衛生所に勤務し、いまは人事交流として食肉衛生検査所に来ています。家保は畜産農家のために仕事をして成果が出たときに喜んでもらえるのがよいところ。食検は多数の症例を経験できるのがよいところだと感じています。

また、人生は仕事だけではありません。結婚、出産、親もいつまで健康かわからないし、自分が病気をすることだってある。人生設計をきちんと組み立てないといけません。このことに学生のうちはなかなか気が付かないと思いますがこの点はとても重要です。公務員として地元就職すると、人生設計が組み立てやすい。

また、獣医師として社会に出たら、周りの人は全員獣医師ばかり。だから獣医師だというだけではタダの人です。獣医学の中で、ほかの人にはできない得意分野を作り、常に勉強し続けて武器を磨くことが大切です。

北里大学出身



さあ！あなたも三重県で一緒に働きませんか？

